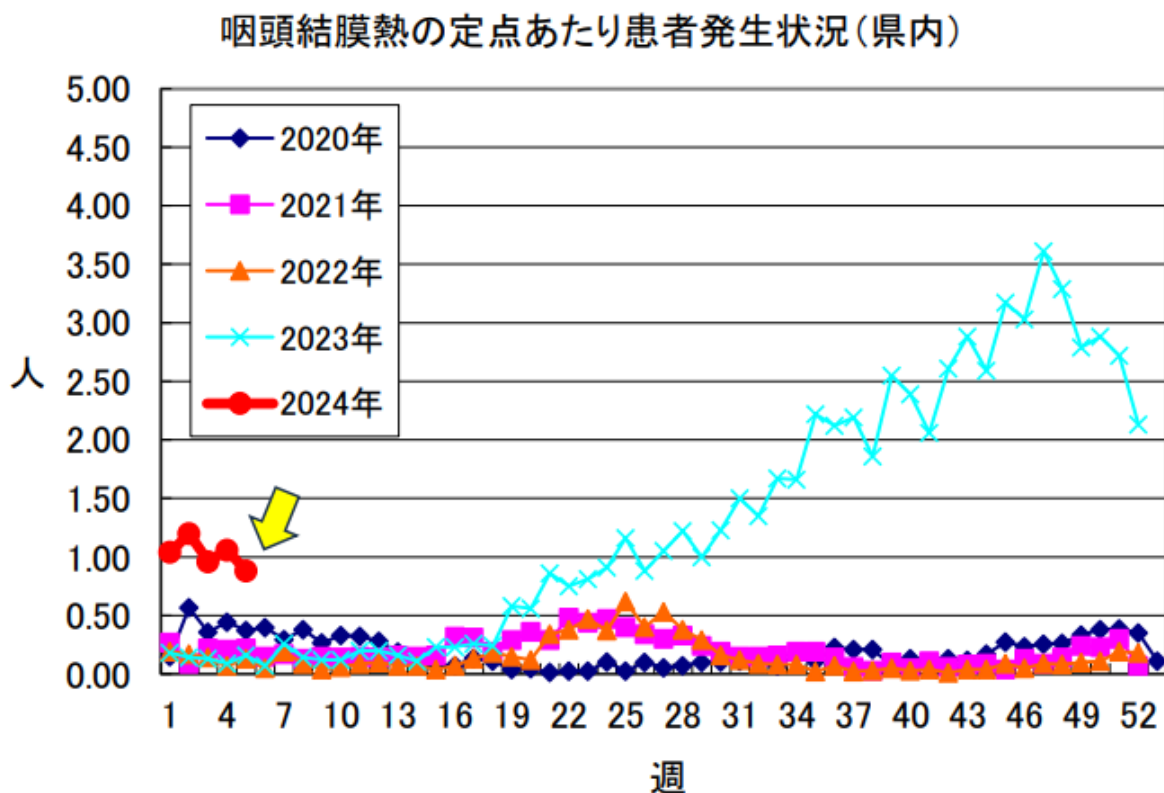


1 県内における咽頭結膜熱の定点医療機関あたりの患者発生状況



2 咽頭結膜熱とは

- ・ アデノウイルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎を主とする小児の急性ウイルス感染症です。症状は3～5日間ほど続きます。
- ・ 潜伏期間は5～7日とされています。

(1) 感染経路

- ・ 通常、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染によります。

(2) 予防方法

- ・ 流行時には、流水とせっけんによる手洗い、手指消毒を励行しましょう。
- ・ 感染者との密接な接触を避けましょう（タオルなどは別に使いましょう）。

(3) 治療方法

- ・ 特別な治療法はありませんが、ほとんど自然に治ります。吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときは早めに医療機関に相談しましょう。